

◆生活環境、安全・安心について

質問	ゴミステーションの体裁が地区によってばらばら。町全体の美観も考慮して統一してはどうか。また設置補助金などを交付できないか。
町長	各地区でさまざまな対応をされているのが現状です。検討課題とさせていただきます。
質問	公立小野町地方総合病院の診療科目の充実と、夜間救急受け入れ体制を望みます。
町長	長年の懸案となっており、今後も要望活動など積極的に行ってまいります。
質問	イノシシなど有害鳥獣対策の強化をお願いしたい。
町長	有害鳥獣駆除隊の方々の活躍により、イノシシは年間約150頭を駆除しています。罠 ^{わな} を新たに整備するなどしていますが、原発事故とも相まって対応に苦慮しています。国や県にも対応を要望してまいります。
質問	太陽光発電事業の開発があちこちで進んでいる。住民に不安を与えないよう対応してほしい。
町長	特に大規模な事業については、皆さんの不安が軽減するよう業者への指導や協定の締結などを行ってまいります。

◆産業・観光の振興について

質問	特産品の開発促進、育成支援、品質管理などをどう進めるか。
町長	特産品の開発は、小野高校家庭クラブの取り組みや商工会などに一生懸命取り組んでいただいています。町としては、今年度トレーラーハウスやキッチンカーを整備しますので、これを活用し、生産者や創業希望者のさまざまなチャレンジや販路拡大を支援していきます。また特産品の生産などへの補助は事業の始めには重要です。軌道に乗ってきからの補助などのあり方については検討課題とさせていただきます。 特産品は町の顔ともなりますので、品質の管理にしっかりと取り組んでまいります。
質問	農業の振興策は。
町長	担い手への農地の集積や基盤整備、認定農業者制度の普及と認定を進めてまいります。葉タバコ生産が減少するなか、園芸作物への切り替えとその販路開拓、効率的な販売方法の研究および普及に取り組んでまいります。
質問	観光地環境維持などの支援をお願いしたい。
町長	維持活動されている方々も高齢化が進んでおり、活動が大変になっていると感じています。支援策を検討してまいります。

◆子育て支援策について

質問	幼児教育環境の向上策は。
町長	子育て環境の充実は、人口減少対策として最も重視しています。幼稚園機能と保育園機能を併せ持つ認定こども園の整備を進めます。このため今年度は用地選定などを行い、早期の供用開始を目指します。待機児童対策としての効果も期待しています。認定こども園の整備については、保護者や地域の方々が不安を抱かないよう丁寧に説明しながら進めてまいります。 保育料負担の軽減については、多子世帯などに対し減額を実施しています。無料化については一部の自治体で行っていますが、公平性の確保の観点から現時点では難しいと考えています。少子化は国全体の問題とも考えていますので、国の対応にも期待しています。
質問	中学生の登下校もスクールバスで対応できないか。
町長	現在教育委員会の方針として新たにスクールバスで対応するのは統廃合のときとしています。今後意向調査などを実施し対応を考えてまいります。